

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。



沖縄協同病院・病院広報委員会

那覇市古波蔵4丁目10番55号

TEL.(098)853-1200

FAX.(098)853-1212

http://oki-kyo.jp

発行責任者 仲程正哲

新病院施設の紹介⑥
利用者参加型レストラン



沖縄協同病院3階に外来患者様をはじめ、組合員・職員待望のレストランがオープンしました。

- ①安全・ヘルシー・安価・美味しい食事の提供に努める
- ②味の追求やメニューの検討を含め利用者参加型レストラン運営

等をモットーに、スタッフ一同努力し、皆様に喜ばれるレストランを目指していきますので多くのご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

また、組合員さんの自慢のレシピも募集しています。

＜営業時間のご案内＞

月～金 午前7:30～午後7:00
 土 午前7:30～午後2:00
 日・祭日 定休日

辺野古への新基地建設と
県内移設に反対する
11.8県民大会開かれる

2万1千人が参加

11月8日(日)に宜野湾市の海浜公園野外劇場にて県民大会が開かれ、2万1千人の県民が参加しました。

当日は、沖縄民医連、沖縄医療生協、医師協労組の三者でバスを14台手配して、協同病院の職員や組合さんが多く参加しました。また、多くの国会議員や県議会議員、各市町村議員も参加していました。

大会での発言の中身は、「県内移設は反対・基地のたらい回し反対」の意見で一致していました。世論調査でも約7割の方が県内移設に反対と回答しています。民主党政権は、このことを真摯に受け止め、新基地建設を断念するべきです。

政権交代をしたこの機会に、是非とも基地建設をストップさせ、国民・県民のための政治に切り替えるためには、私たちの運動が非常に重要になっています。これからも一緒に頑張っていきましょう。

事務次長 知念 毅



新副院長就任

11/1より新たに2名の副院長が就任しました。

- 西原 徹 医師
- 伊泊 広二 医師

これまでの諸見川 純医師、上原昌義医師の計4人が副院長となります。

よろしくお願いいたします。



1階採血受付横の壁に、上原和博医師が秋の様子を色紙や短冊に描き飾っています。この絵に皆様の琉歌や俳句、あるいは好きな言葉などを添えて、一緒に作品を作ってみませんか。ぜひお寄せください。

病院の活動状況 <10月度>

- ・外来平日(月～金) : 732.9人(前月比+21.1人)
一日平均患者数
- ・組合員利用率 : 55.0%(前月比+1.5%)

精度管理と標準化

検査室

45

精度管理とは、皆さんが病院や健診等で検査を受けた際、検査結果が正しいデータである事を保証する重要な検査業務の一つです。簡単に例えると、重さを量る「はかり」の点検のようなもので、正確な1kgの重りをはかりにかけるとちゃんと1kgの針が1kgを指すか確認するといった作業です。精度管理には内部精度管理と外部精度管理があります。

内部精度管理とは毎日行われるもので、当検査室では毎日朝、昼、夕方の三回にわたってコントロール血清というあらかじめ値が定められた人工の血清を分析装置で測定し、データが基準内に収まっている事を確認しています。

外部精度管理とは検査室内の精度管理を県単位または全国規模で行うもので、県内の各医療機関の検査室や検査センターおよび全国の検査室で同じ検体の測定を行い、検査データの正確さを客観的に評価するものです。当検査室ではこの外部精度管理に年間三回参加しています。

これらの内部および外部精度管理を組み合わせ、常に正確な検査が行われるよう日々努めています。

続いて標準化ですが、検査技術は日々進歩していて、より優れた検査方法検査時間の短縮や試薬の性能向上などが誕生しています。全ての検査室で優れた検査方法を採用できれば良いのですが、難しいのが現状です。しかし検査方法が違うと検査結果にも違いが出てきます。受診した医療機関ごとで同じ検査を実施したがデータが異なるという状況では、検査を何回も実施することとなり、患者様にとって肉体的にも経済的にも不利益をもたらすこととなります。このようなことが起こらないように、全国どの病院で検査を行っても同じ検査結果が得られるようにと、現在は標準化作業という働きが、日本臨床検査技師会の事業として全国的に進められつつあります。当検査室も標準化へ向け、現在ではほとんどの検査項目で標準化を達成しつつあります。

精度管理とは、皆さんが病院や健診等で検査を受けた際、検査結果が正しいデータである事を保証する重要な検査業務の一つです。簡単に例えると、重さを量る「はかり」の点検のようなもので、正確な1kgの重りをはかりにかけるとちゃんと1kgの針が1kgを指すか確認するといった作業です。精度管理には内部精度管理と外部精度管理があります。

内部精度管理とは毎日行われるもので、当検査室では毎日朝、昼、夕方の三回にわたってコントロール血清というあらかじめ値が定められた人工の血清を分析装置で測定し、データが基準内に収まっている事を確認しています。

外部精度管理とは検査室内の精度管理を県単位または全国規模で行うもので、県内の各医療機関の検査室や検査センターおよび全国の検査室で同じ検体の測定を行い、検査データの正確さを客観的に評価するものです。当検査室ではこの外部精度管理に年間三回参加しています。

これらの内部および外部精度管理を組み合わせ、常に正確な検査が行われるよう日々努めています。

続いて標準化ですが、検査技術は日々進歩していて、より優れた検査方法検査時間の短縮や試薬の性能向上などが誕生しています。全ての検査室で優れた検査方法を採用できれば良いのですが、難しいのが現状です。しかし検査方法が違うと検査結果にも違いが出てきます。受診した医療機関ごとで同じ検査を実施したがデータが異なるという状況では、検査を何回も実施することとなり、患者様にとって肉体的にも経済的にも不利益をもたらすこととなります。このようなことが起こらないように、全国どの病院で検査を行っても同じ検査結果が得られるようにと、現在は標準化作業という働きが、日本臨床検査技師会の事業として全国的に進められつつあります。当検査室も標準化へ向け、現在ではほとんどの検査項目で標準化を達成しつつあります。

精度管理とは、皆さんが病院や健診等で検査を受けた際、検査結果が正しいデータである事を保証する重要な検査業務の一つです。簡単に例えると、重さを量る「はかり」の点検のようなもので、正確な1kgの重りをはかりにかけるとちゃんと1kgの針が1kgを指すか確認するといった作業です。精度管理には内部精度管理と外部精度管理があります。

内部精度管理とは毎日行われるもので、当検査室では毎日朝、昼、夕方の三回にわたってコントロール血清というあらかじめ値が定められた人工の血清を分析装置で測定し、データが基準内に収まっている事を確認しています。

外部精度管理とは検査室内の精度管理を県単位または全国規模で行うもので、県内の各医療機関の検査室や検査センターおよび全国の検査室で同じ検体の測定を行い、検査データの正確さを客観的に評価するものです。当検査室ではこの外部精度管理に年間三回参加しています。

これらの内部および外部精度管理を組み合わせ、常に正確な検査が行われるよう日々努めています。

続いて標準化ですが、検査技術は日々進歩していて、より優れた検査方法検査時間の短縮や試薬の性能向上などが誕生しています。全ての検査室で優れた検査方法を採用できれば良いのですが、難しいのが現状です。しかし検査方法が違うと検査結果にも違いが出てきます。受診した医療機関ごとで同じ検査を実施したがデータが異なるという状況では、検査を何回も実施することとなり、患者様にとって肉体的にも経済的にも不利益をもたらすこととなります。このようなことが起こらないように、全国どの病院で検査を行っても同じ検査結果が得られるようにと、現在は標準化作業という働きが、日本臨床検査技師会の事業として全国的に進められつつあります。当検査室も標準化へ向け、現在ではほとんどの検査項目で標準化を達成しつつあります。



中央臨床検査室 玉城正幸

1年を振り返って

4月 新入職員53名入職(4/1)

5月 新病院落成祝賀会(5/17)

引越し(5/29~5/31)

6月 新病院開院(6/1)

9月 救急の日に2つの受賞(9/9)

厚生労働大臣表彰受賞者

那覇市消防本部

10月 県内初のSCU開設(10/1)



新病院落成祝賀会



新病院開院

＜医師の動向＞

2月 新垣安男医師

定年退職

3月 西銘圭蔵医師

定年退職

4月 脳神経外科

金城繁正医師

木本敦史医師 入職

8月 心療内科

蟻塚亮二医師 入職

かりゆし会

沖縄協同病院
糖尿病患者会

久しぶりのグラウンドゴルフ



11/21(土)、かりゆし会のグラウンドゴルフ大会が行われ、15名が参加しました。前は雨で中止となっていたため、久しぶりに野外で身体を動かし、お弁当を食べ楽しく過ごしました。

かりゆし会事務局 玉城淳子



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

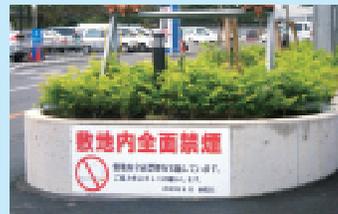
ご意見・ご要望

玄関前の溝にタバコの吸殻がつまり、雨水が歩道にあふれ、患者さんが歩けないで困っています。

ご返事

職員がすぐに溝の掃除をしました。しかし吸殻は一向に減りません。今回、敷地内全面禁煙の表示をあちこちに設置しました。当院は禁煙外来の診療をしています。禁煙外来は敷地内禁煙がされていないと認められません。どうぞ、禁煙にご協力ください。

総務課長 新垣司



医療安全室だより③

医療安全室は医療事故予防の対策をしたり、患者様や職員の安全に関わることを担当しています。

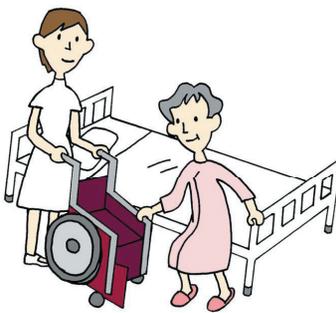
前回に引き続き、皆様にご協力いただきたい対策をご紹介します。

<その3>転倒・転落事故防止のために

入院すると環境の変化に加え、病気やケガによる体力や運動機能低下などにより、思いがけない転倒やベッドなどからの転落の危険性があります。

当院では必要に応じてベッドの工夫、ベッド柵の使用、離床センサー装置などの危険防止対策をとらせていただいております。

転倒・転落の危険性についてご理解いただき、転倒・転落防止にご協力をお願いいたします。



年末年始外来休診のお知らせ

12/29(火)午後~1/3(日)外来休診

救急は終日受付けております



ダイエットウォーク&気功

★ダイエットウォークを取り入れたストレッチとウォークです。

〔12月の日程〕 2・9・16日(水)

(当面第1・2・3水曜となります)

場所:リハビリ室(とよみ生協病院) 時間:18:30~20:00



※途中参加、退出できますので、お気軽にご参加ください。

おきなわの自然④

ウージトシの頃

ウージになったという。

そろそろウージの花が咲きはじめ、2月になるとウージトシ(キビ)の収穫が始まる。40年以上前になるが、ウージトシは大変な作業なので、集落みんなでゆいまる(相互扶助)をしていた。村にはサーターヤーがあり、収穫したキビはそこで黒砂糖になった。一家庭の収穫が終わるとその家で飼っていたヤギを一匹つぶしてシースビー(慰労会)をやった。今思えば、家の戸数分のヤギが毎年食べられていたことにびっくりする。

小学校の頃、姉2人は血洗いと掃除当番で、私はヤギの草刈り当番だった。学校から帰るとカバンを投げ捨てて、すぐヤギの草刈りに行ったものである。ヤマカシ(ノアサガオ)、オオハ(ハルノノゲシ)、ナガリル(アキノノゲシ)がヤギの好物だ。ある日、ヤギの草刈りに行くため急いで帰ると、庭のアカバナの木に昨日まで草をやっていたヤギが逆さ吊りにされていた。その下には鍋いっぱいの血が……。あの光景を忘れることはない。人間は別の生き物の犠牲の上で生きているのだと思った。

現在は、サーターヤー跡は公民館になり、一面サトウキビの白い花に埋め尽くされていた畑がすべてビニールハウスに変わった。

古き良き時代の思い出がある私は幸せだと思つ。だから、辺野古は古き良き故郷であつてほしい。

とよみ生協病院
総務課長 金城稲子

